



2027年3月期 第2四半期 連結決算説明資料

2026年10月30日

東京証券取引所プライム市場
証券コード:6737

EIZO株式会社

注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の業績見通し、計画、方針、経営戦略、予定等、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、為替変動や需要変動、調達リスク、その他の既知・未知のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“F”及び“Q”を用いております。2027年3月期中間期は“26F1”、第2四半期(3ヶ月)は“26Q2”、2027年3月期は“26F”となります。

市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア (HC)	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク (CW)	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、ディフェンス、その他産業用途(タッチモニター含む)
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 有生(ありせ) TEL：076-275-4121

1. 2027年3月期第2四半期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

3. 参考資料

2027年3月期第2四半期 決算概要

増収増益

V&S市場向けの販売増加や円安ユーロ高が寄与

□ 売上高：406.9億円(前年同期比 +28.2億円)

- 主要地域である欧州経済低迷は継続しているものの、B&Pの販売は国内外ともに増加
- 航空管制用途やディフェンス用途向けは堅調に推移

□ 営業利益：18.1億円(前年同期比 +11.5億円)

- 売上総利益：V&S市場向け高付加価値製品の販売増や円安ユーロ高の為替影響により増加
- 販売費及び一般管理費：121.2億円(前年同期比 +4.4億円)
欧州における組織体制の再構築及び合理化による固定費の削減や
前年同期に計上した新技術棟に係る一時費用の計上がなかったこと等により減少。
一方、海外グループ会社における販売費及び一般管理費を円換算する際に
為替影響により増加

□ 親会社株主に帰属する中間純利益：49.3億円(前年同期比 +40.0億円)

- 特別利益：投資有価証券売却益44.6億円を計上

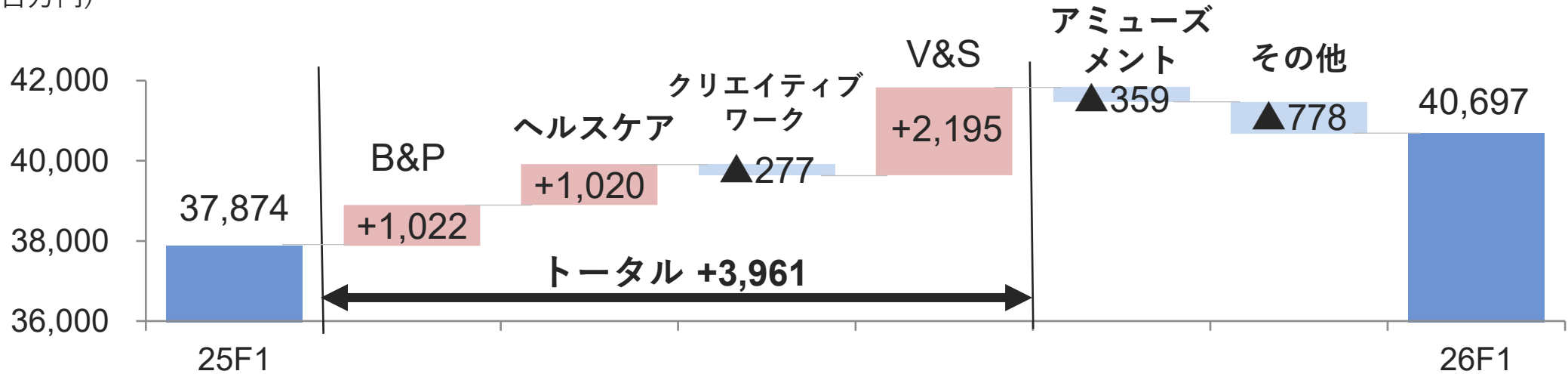
連結損益計算書

(百万円)

	25F1	26F1	前年同期比
売上高	37,874	40,697	107.5%
売上総利益	12,346	13,944	112.9%
売上総利益率	32.6%	34.3%	+1.7pt
販売費及び一般管理費	11,686	12,129	103.8%
営業利益	659	1,815	275.1%
営業利益率	1.7%	4.5%	+2.7pt
経常利益	1,492	2,451	164.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益	930	4,938	530.7%
為替レート（四半期平均）:USD	146.02円	159.49円	+13.47円
為替レート（四半期平均）:EUR	168.05円	184.43円	+16.38円

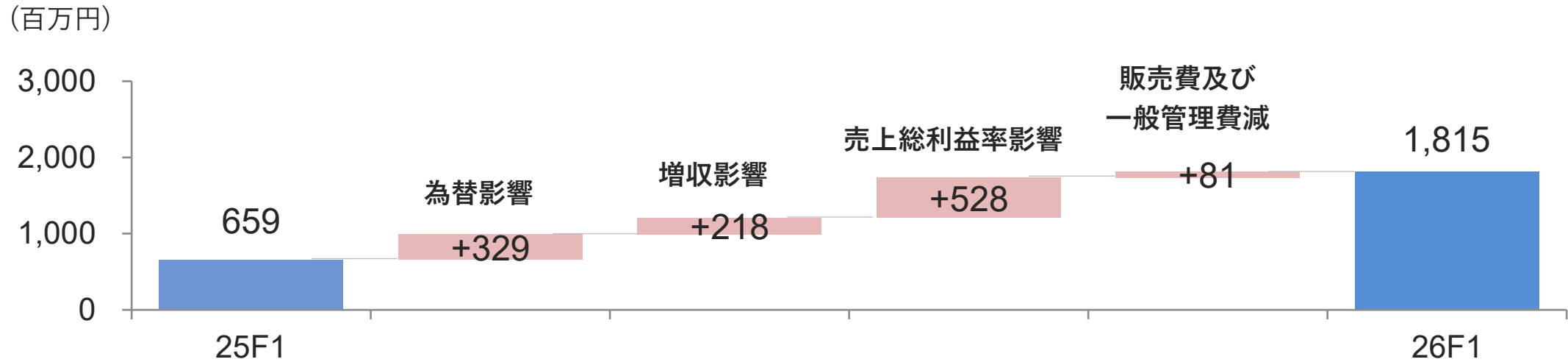
売上高増減要因

(百万円)



- **B&P** : 欧州の経済環境は好転していないものの、販売案件の積み重ねにより前年同期を上回る
- **ヘルスケア** : 診断用途向けでは欧州で販売が回復基調なことに加え、インド・中東地域で販売が拡大。内視鏡用途向けは中国・インドで好調。手術室用途向けは海外で堅調に推移
- **クリエイティブワーク** : エントリー層をターゲットとした市場での競争の激化等により、販売は低調に推移
- **V&S** : 航空管制用途向けは北米で大型案件の出荷が始まったことに加え、欧州及び中国で堅調。ディフェンス向けは日本・北米及び欧州でモニターの販売が拡大
- **アミューズメント** : 前年同期に主力機種の販売があったことから、前年同期を下回る売上高
- **その他** : アミューズメント用ソフトウェア受託開発等の売上高が減少

営業利益増減要因

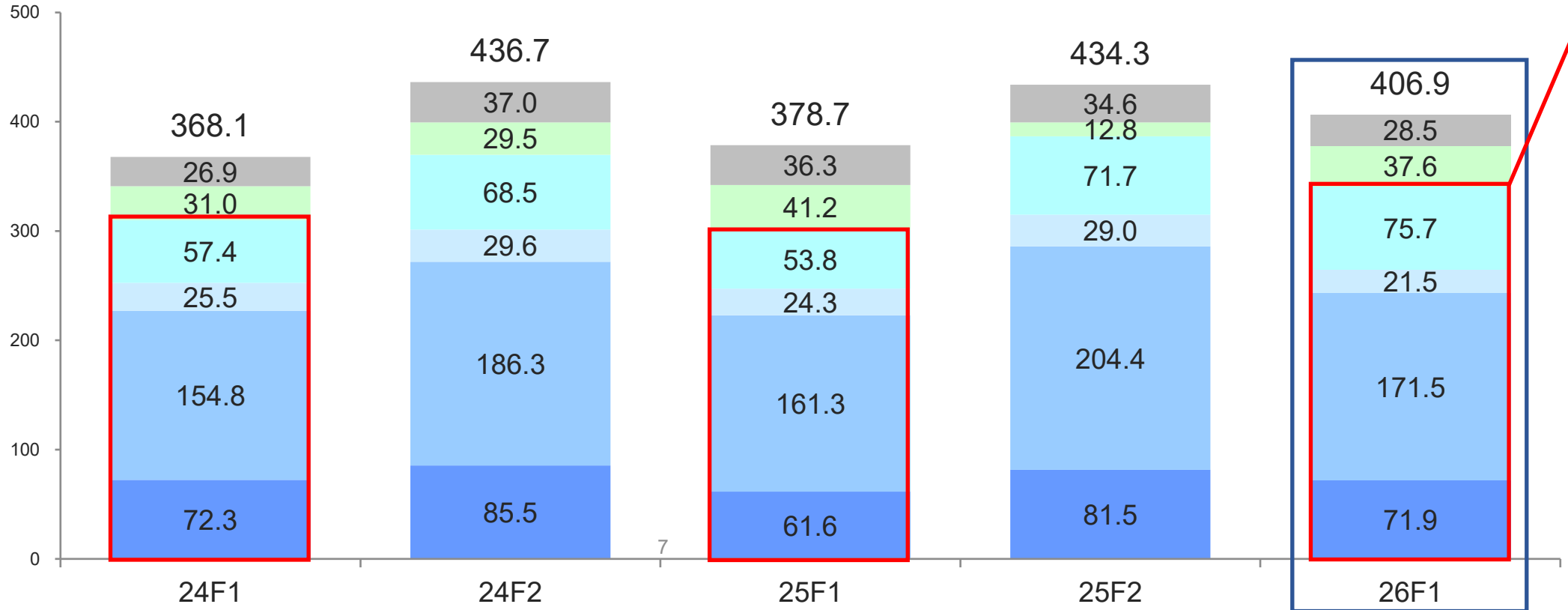


- 為替影響： 対ユーロで円安に推移したことによる
- 売上総利益率の上昇： V&S市場向けを中心とした高付加価値製品の販売増加による
- 販売費及び一般管理費の減少： 欧州における組織体制の再構築及び合理化による固定費の削減や前年同期に計上した新技術棟に係る一時費用の計上がなかったこと等により減少

市場別売上高推移

(億円)

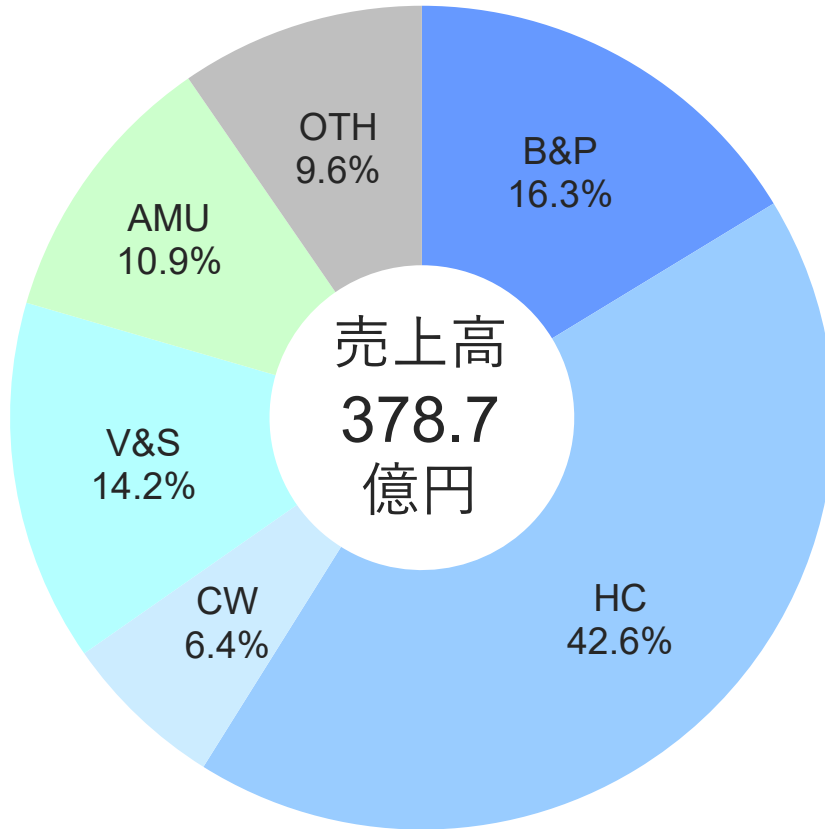
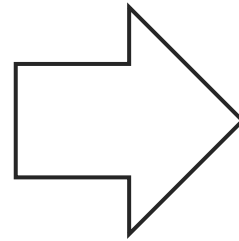
■ B&P ■ HC ■ CW ■ V&S ■ AMU ■ OTH



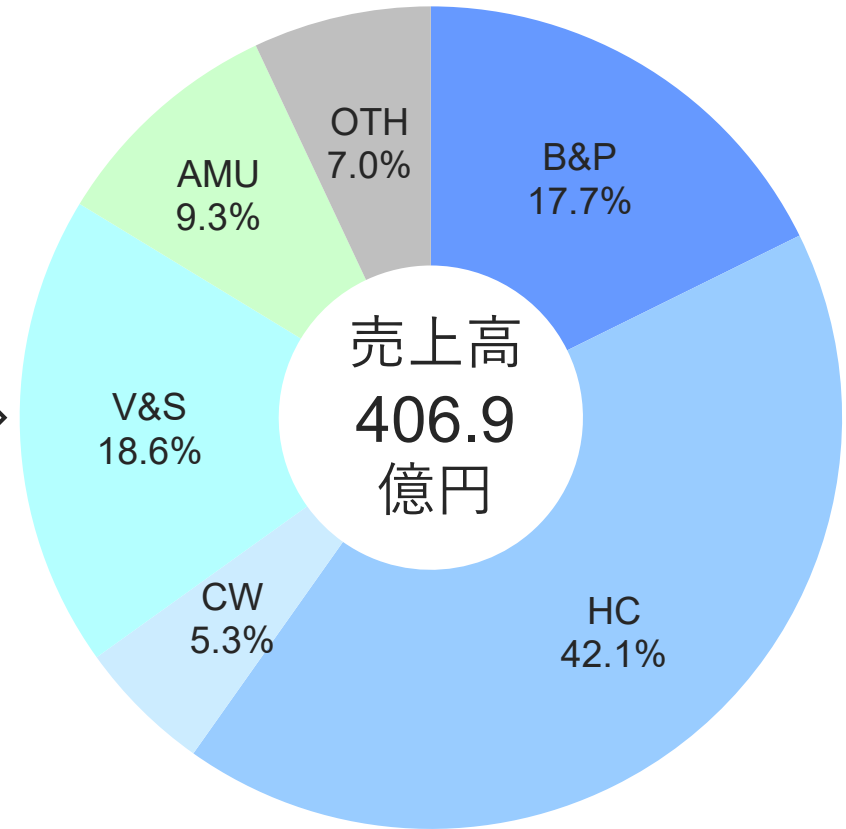
B&P/HC/CW/V&S
トータル
25F1比 113.2%

市場別売上高構成比

25F1

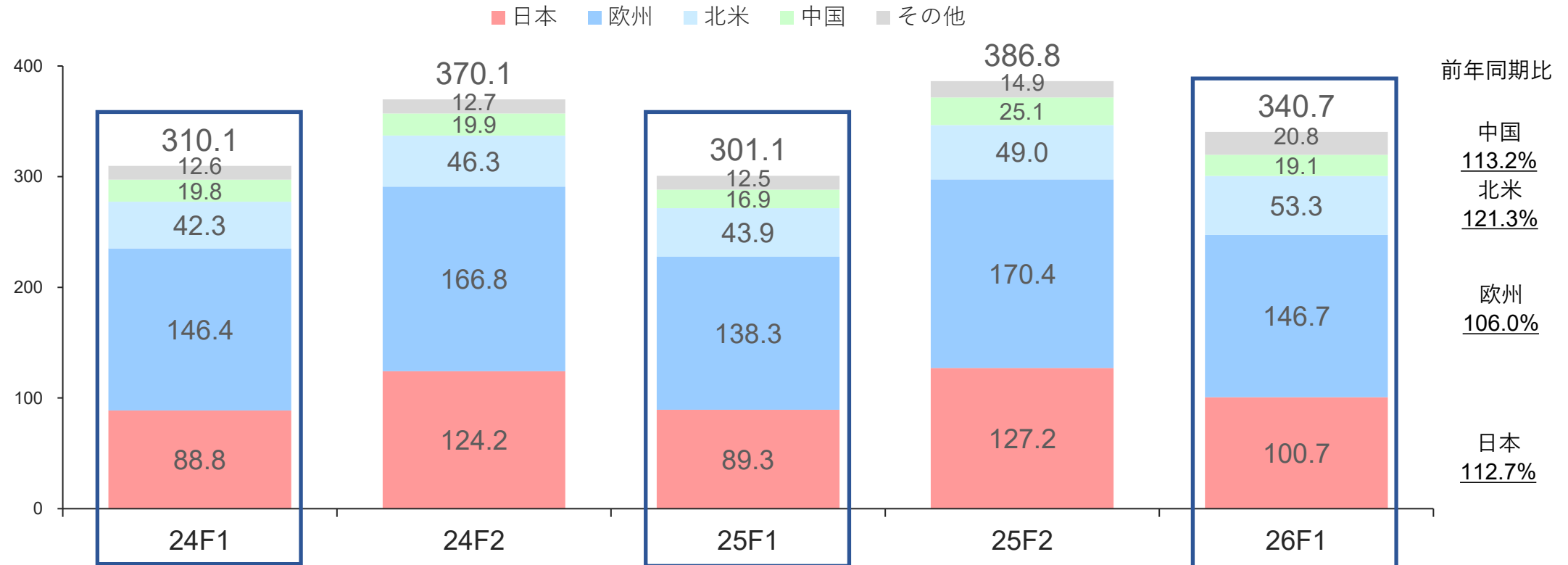


26F1



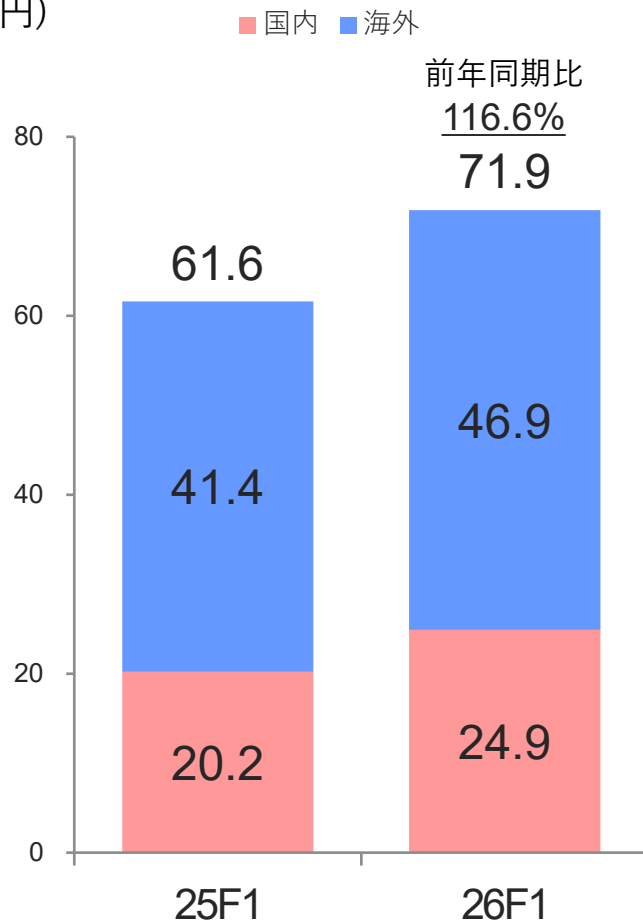
B&P/ヘルスケア/クリエイティブワーク/V&S 地域別売上高推移

(億円)



市場別売上高：B&P (Business & Plus)

(億円)



- 主要市場である欧州では経済環境は好転していないものの、販売案件の積み重ねや円安ユーロ高の為替影響により海外向け売上高は前年同期を上回る
- 日本では複数の大型案件が売上高に寄与



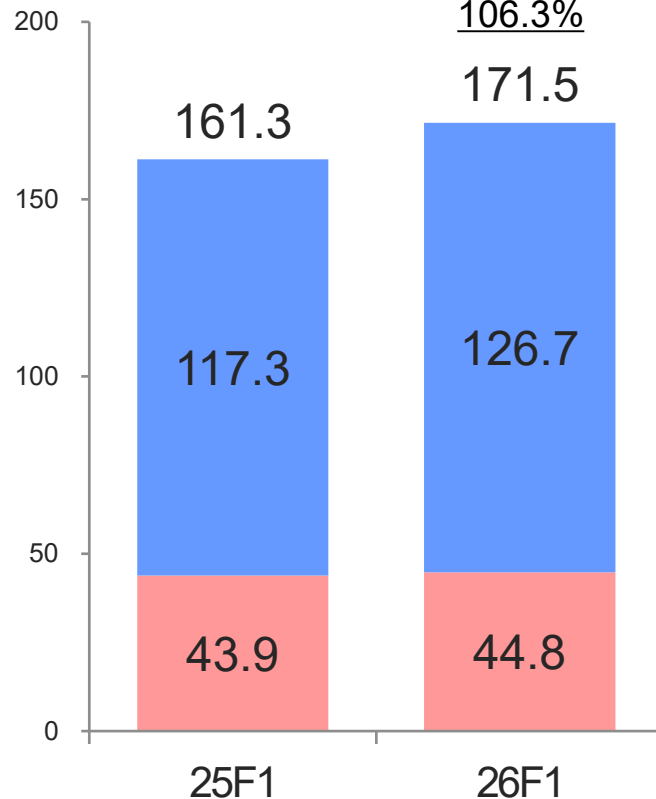
FlexScan® EV3451X

市場別売上高：ヘルスケア

(億円)

■ 国内 ■ 海外

前年同期比
106.3%



診断用途

- 欧州において販売が回復基調で推移したことに加え、インド・中東地域でも販売が拡大。日本においても前年同期を上回る売上高

手術室用途

- 海外で堅調に推移

内視鏡用途

- 中国・インドで好調に推移したことにより全体で前年同期を上回る売上高



PX3150

市場別売上高：クリエイティブワーク

(億円)

■ 国内 ■ 海外



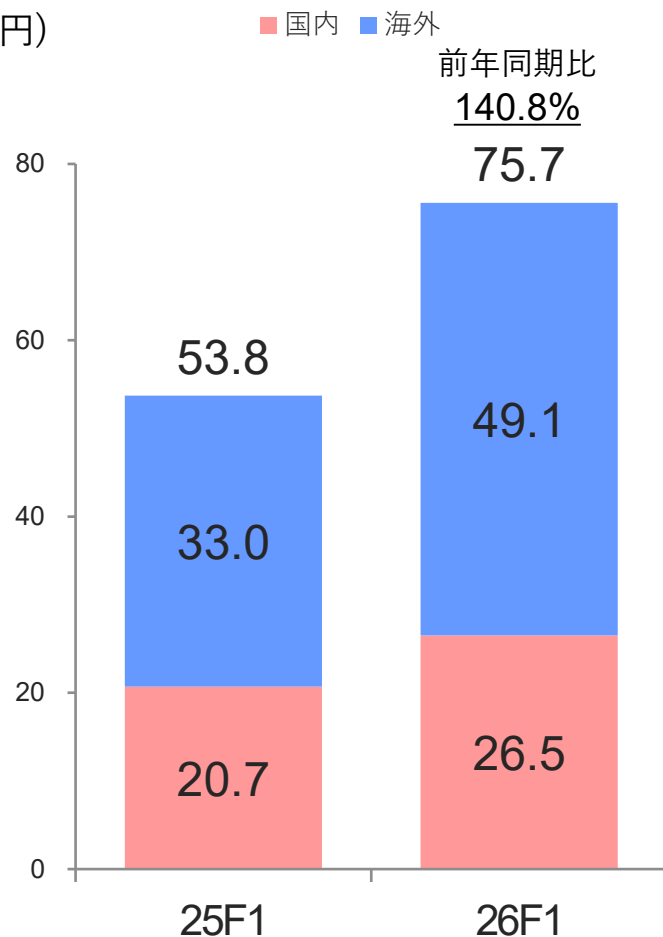
- エントリー層をターゲットにした市場での競争の激化等により、販売は低調に推移
- このような状況下、下期よりカラーマネージメント対応のOLED(有機EL)モニターの新製品を発売し、競争力強化を図る



ColorEdge®CS3200X

市場別売上高：V&S (Vertical & Specific)

(億円)



航空管制

- 欧州及び中国では販売が堅調に推移。
北米において大型案件の出荷が始まり、前年同期を上回る

船舶

- 新規造船需要を受け日本で堅調な販売

セキュリティ・監視

- セキュリティ市場の成長を背景に、
国内外ともに販売が堅調に推移し、
売上高は前年同期を上回る



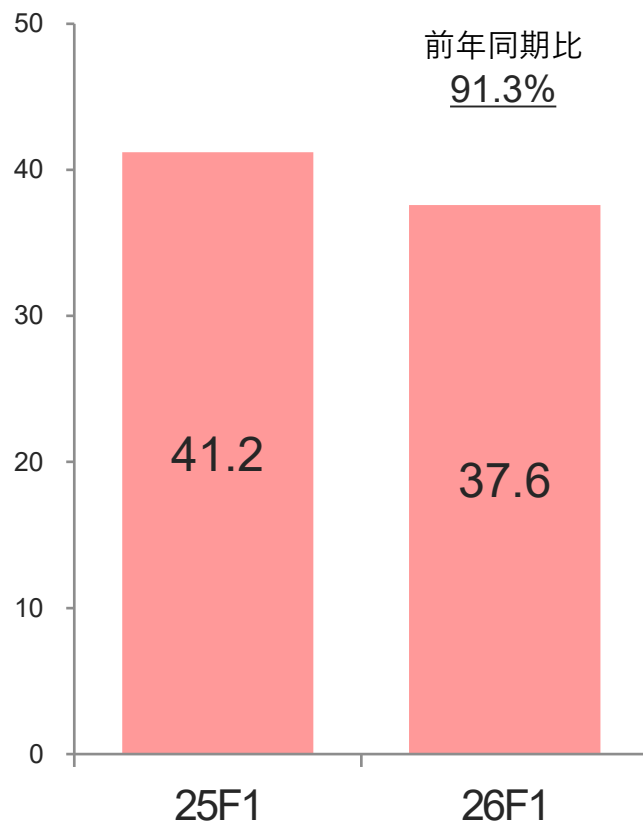
Raptor RP3226

ディフェンス

- 北米を中心に米国グループ会社が開発生産しているGPGPUボード(※)の
販売が堅調。日本・北米及び欧州でモニターの販売が拡大
※GPGPU (General-Purpose computing on Graphics Processing Units) :
大量計算を高速に処理するための専用計算ボード

市場別売上高：アミューズメント

(億円)



- 遊技人口の減少と店舗数の減少等による
業界全体の規模縮小が進み、厳しい市場環境が継続
- 前年同期に主力機種の販売があったことから
売上高は前年同期を下回る



©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

連結貸借対照表

(百万円)

	26年3月末	26年9月末	増減
流動資産	84,776	81,473	▲3,302
現預金	20,352	22,510	+2,157
売掛金等 ※	22,380	20,281	▲2,098
棚卸資産	37,742	36,953	▲789
有形固定資産	26,321	25,407	▲914
無形固定資産	836	800	▲36
投資その他の資産	65,547	114,309	+48,762
資産合計	177,482	221,991	+44,509
流動負債	21,349	19,544	▲1,805
短期借入金	5,502	5,350	▲152
固定負債	19,201	34,697	+15,496
純資産	136,930	167,749	+30,818
負債純資産合計	177,482	221,991	+44,509

保有する投資有価証券の価額が大幅に上昇したことにより、投資有価証券/繰延税金負債/その他有価証券評価差額金が増加

※受取手形、売掛金、契約資産及び電子記録債権

研究開発費 / 設備投資 & 減価償却費

(億円)

	25F1	26F1	前年同期比
研究開発費 ※製造費用計上分を含む	33.5	35.5	105.9%
売上高研究開発費率	8.9%	8.7%	▲0.1pt.
	25F1	26F1	前年同期比
設備投資	37.5	7.9	21.1%
減価償却費	16.4	14.6	89.0%

研究開発費

- ヘルスケアやV&Sの注力分野における研究開発を強化

設備投資

大型の設備投資は一巡し、
設備更新投資を中心に実行

※25F1は本社新技術棟(石川県白山市)
約29億円あり
2025年4月竣工(総投資金額 約52億円)

1. 2027年3月期第2四半期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

3. 参考資料

2027年3月期 業績の見通し

(百万円)

	25F	26F計画	前期比
売上高	81,308	85,000	104.5%
売上総利益	25,901	27,700	106.9%
売上総利益率	31.9%	32.6%	+0.7pt
販売費及び一般管理費	23,535	24,400	103.7%
営業利益	2,365	3,300	139.5%
営業利益率	2.9%	3.9%	+1.0pt
経常利益	3,772	4,600	121.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,323	6,500	88.8%
為替レート（年平均）:USD	150.67円	160.00円	+9.33円
為替レート（年平均）:EUR	174.64円	175.00円	+0.36円
ROA	2.3%	-	-
ROE	5.6%	-	-

2026年5月12日公表値より変更なし

足元の業績は計画を上回って順調に推移しているものの、部材調達には一部不確実性が残ることから、現時点では通期業績予想を据え置く。
今後、調達状況等を見極め、業績予測の修正が必要と判断した場合には速やかに公表する

連結営業利益への為替感応度(1円円安による影響額)

■ USD：▲80百万円

■ EUR：+100百万円

市場別売上高予想

(百万円)

	25F	構成比(%)	26F計画	構成比(%)	前期比(%)
B&P (Business & Plus)	14,325	17.6	14,900	17.5	104.0
ヘルスケア	36,578	45.0	37,300	43.9	102.0
クリエイティブワーク	5,342	6.6	5,800	6.8	108.6
V&S (Vertical & Specific)	12,552	15.4	15,200	17.9	121.1
アミューズメント	5,414	6.7	6,100	7.2	112.7
その他	7,094	8.7	5,700	6.7	80.3
合計	81,308	100.0	85,000	100.0	104.5

トピック①

「FTSE JPX Blossom Japan Index」に初選定

グローバルインデックスプロバイダーのFTSE Russellが作成し、サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用される

FTSE Russellの様々な基準を満たす

- コーポレートガバナンス
- 健康と安全性
- 腐敗防止
- 気候変動



FTSE JPX Blossom Japan Index

「FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄
には2022年度から5年連続で選定

トピック②

ColorEdgeシリーズ初、カラーマネージメント対応の OLEDモニター「ColorEdge CG3200X」を発売

- ピーク時1000cd/m²・全画面白時300cd/m²の高輝度、
150万：1の高コントラスト比
- 独自のABL制御により、安定したHDR映像
 - OLEDモニターでは高輝度表示時にパネルを保護
するために輝度を制限するABL制御を用いる。
画面全体が意図せず暗くなる課題に対して、
EIZO独自のABL制御で見え方の変化を最小限に

OLED
4K HDR



ColorEdge® CG3200X



オリジナル映像



EIZO独自のABL制御



従来のOLEDモニターのABL制御

トピック③

導入事例：

静岡文化芸術大学では、 EIZOモニターが学生の実践的な学びと創造力を支援

学内情報システム更新に伴い「FlexScan EV2460 / EV2740S」、
「ColorEdge CG2400S」を計273台導入

教育現場のニーズ

- 実際の制作現場に近い学習環境
 - 学生の疲れ目や体への負担軽減
- EIZOの高い表示品質と運用実績を評価

AI時代に求められる
人間の感性や創造力を育む教育
EIZOの「信頼できる表示環境」が支える



株主還元

26Fの1株当たり年間配当金は、25Fより5円増配した115円を予定し、14期連続の増配となる予定に変更ありません。

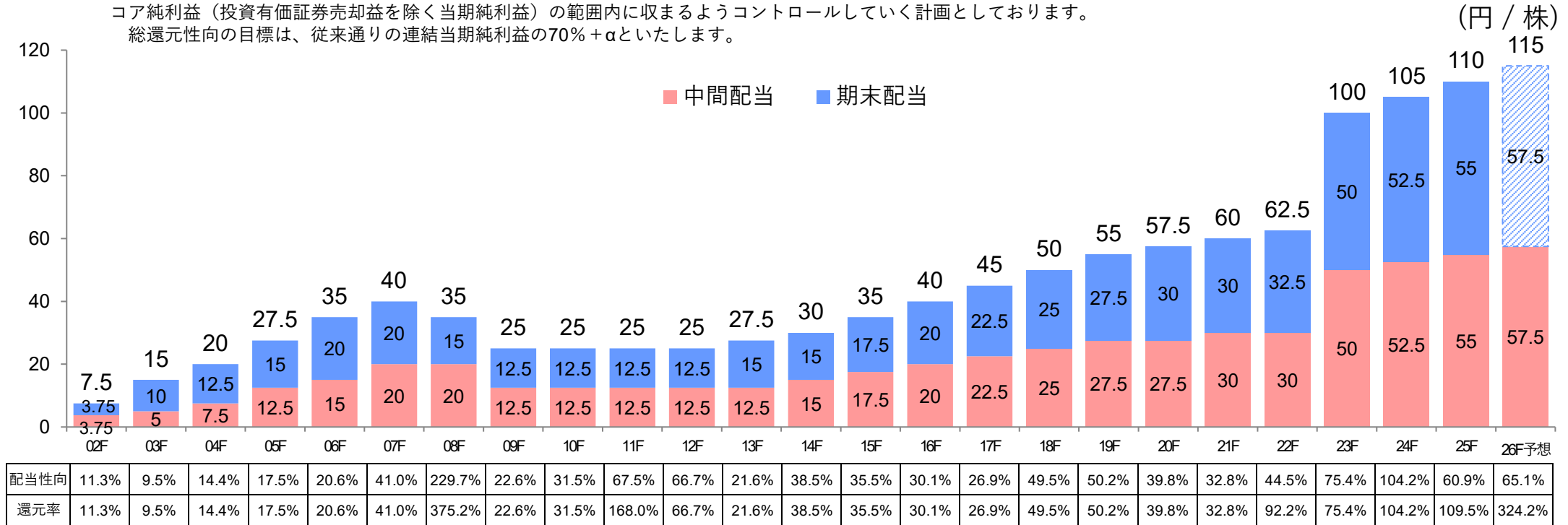
【第9次中期経営計画（27F～29F）の還元方針について】

当社は、成長を支える研究開発を積極的に継続し、事業拡大と業績向上を通じた持続的成長と財務の健全性を両立しながら、株主還元を経営の重要課題として取り組んでおります。

2026年10月30日に公表した第9次中期経営計画は、映像ソリューション企業への進化と収益構造改革を進め、当社の成長性と持続的な収益力を回復させる3年間と位置付けております。

この3年間は、1株当たり年間配当金は115円（26F実績予定）に据え置く予定であり、自己株式の取得により、配当金総額をコア純利益（投資有価証券売却益を除く当期純利益）の範囲内に収まるようコントロールしていく計画としております。

総還元性向の目標は、従来通りの連結当期純利益の70%+αといたします。



※25Fの還元率(総還元性向)には自己株式取得金額 35億円を含みます

※26F予想の還元率(総還元性向)には自己株式取得金額 170億円(予定)を含みます

1. 2027年3月期第2四半期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

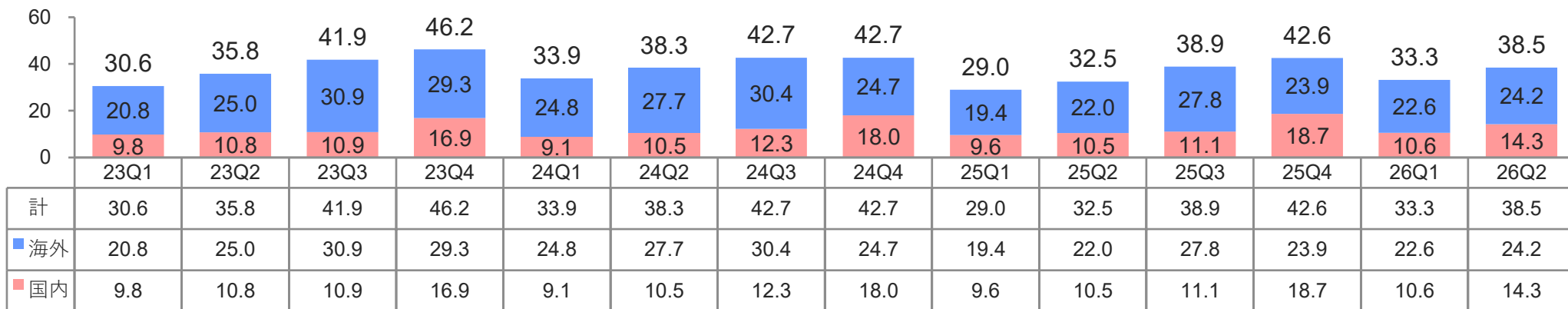
3. 参考資料

市場別売上高推移 B&P / ヘルスケア

(億円)

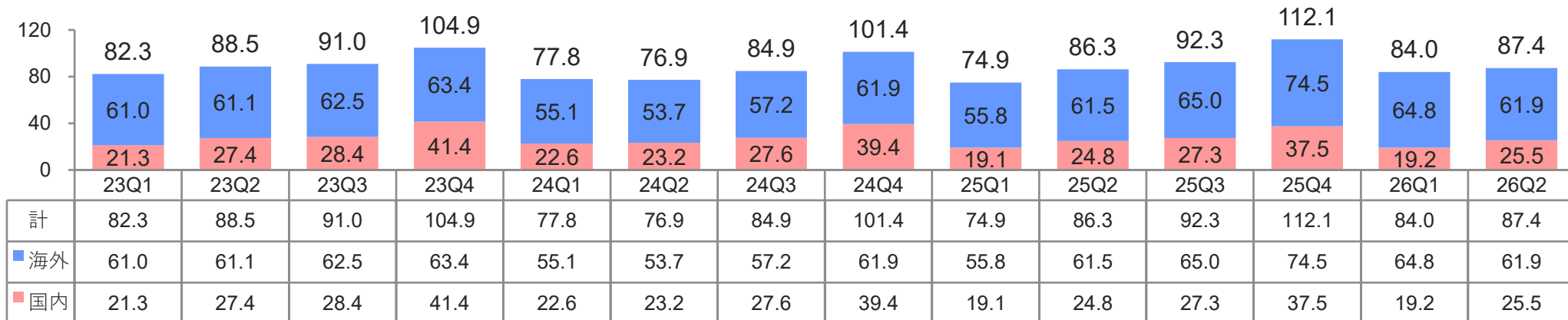
B&P

■ 国内 ■ 海外



ヘルスケア

■ 国内 ■ 海外

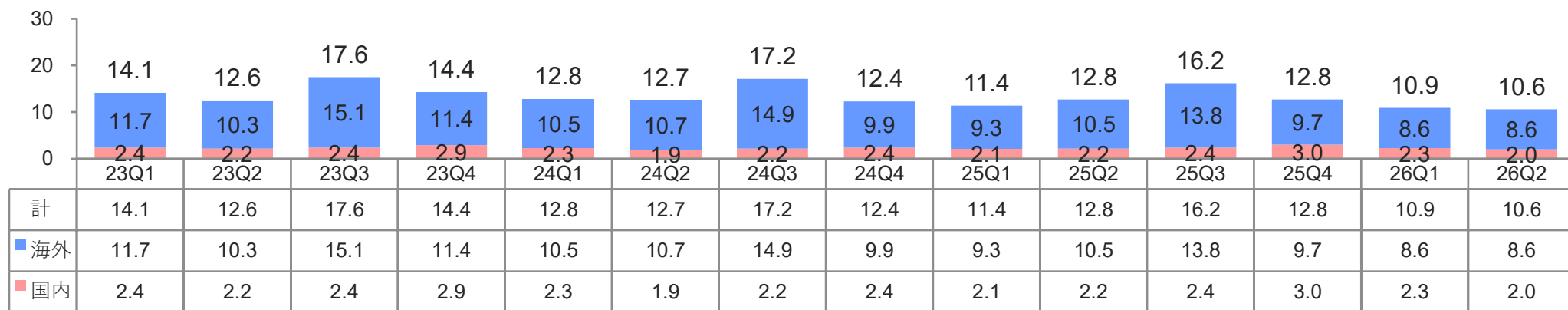


市場別売上高推移 クリエイティブワーク / V&S

(億円)

クリエイティブワーク

■ 国内 ■ 海外



V&S

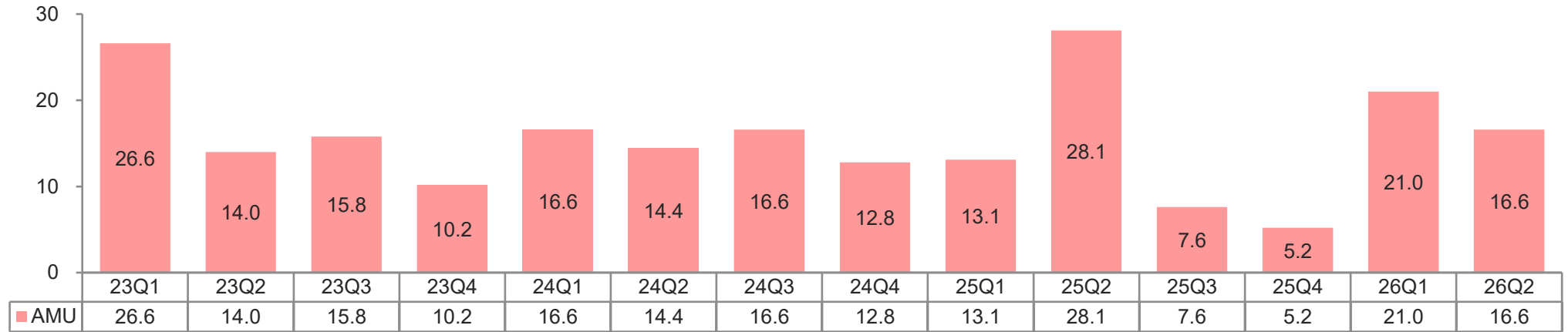
■ 国内 ■ 海外



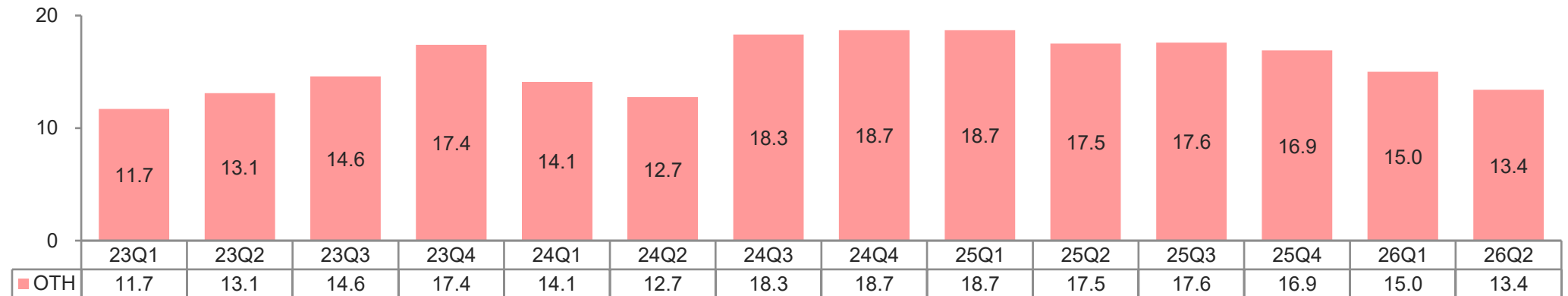
市場別売上高推移 アミューズメント / その他

(億円)

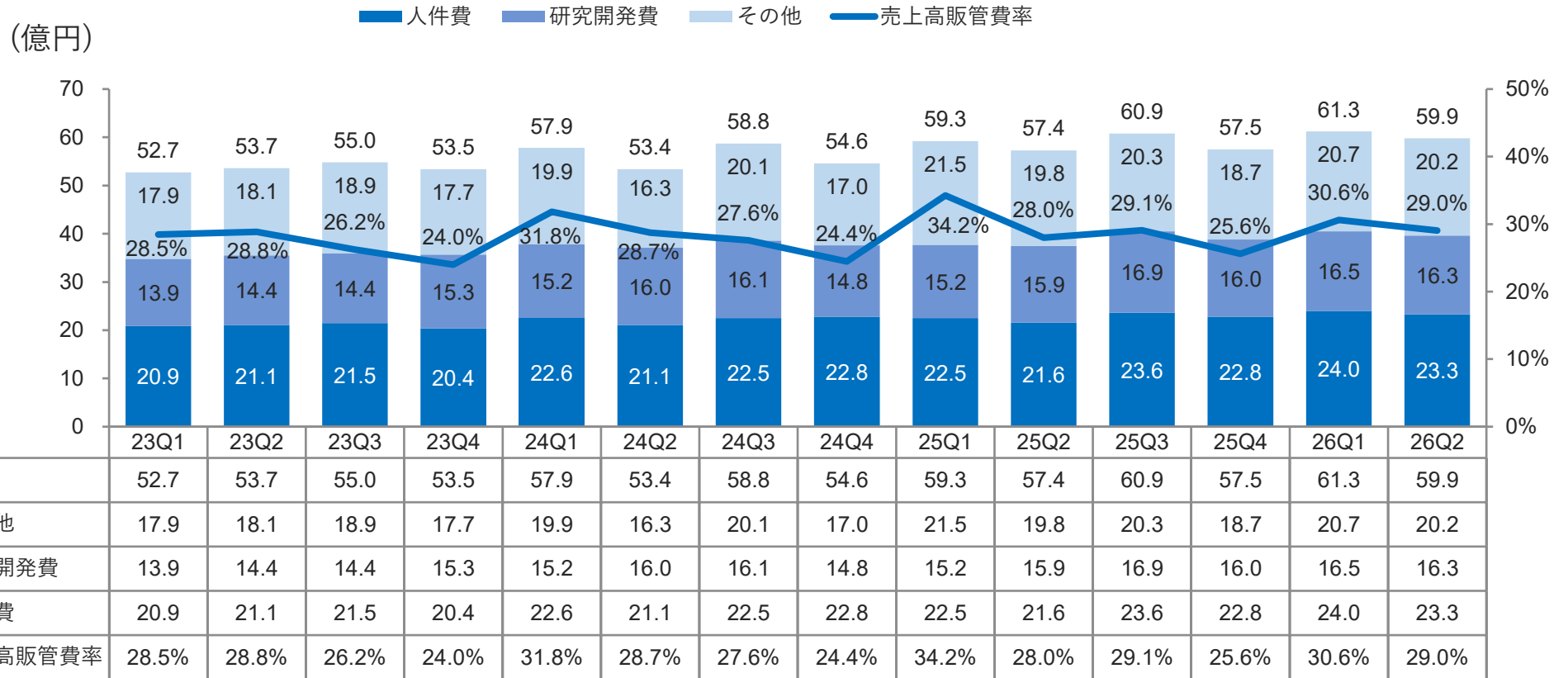
アミューズメント



その他



販売費及び一般管理費推移





Visit us online
www.eizo.co.jp